

平成30年10月29日

府中市議会
議長 小野寺淳 様

府中市議会市政会
会長 市川一徳

行政視察について（報告）

このことについて、次のとおり報告します。

1 日 時 平成30年10月10日（水） ～ 平成30年10月12日（金）

2 視察地及び視察事項

- A 新潟県刈羽郡刈羽村 「オラレ刈羽の状況について」
- B 新潟県長岡市 「都市問題会議」

3 視察者

会 長 市川一徳
幹事長 加藤雅大
村木茂 横田実 石川明男 白井克寿
佐藤新悟 増山明香 松村祐樹

4 視察内容及び所感

別紙のとおり

A 新潟県刈羽郡刈羽村

(1) 視察日時

平成 30 年 10 月 10 日 (水)

(2) 場所

オラレ刈羽

(3) テーマ

オラレ刈羽の状況について

- ・施設概要について
- ・営業状況について
- ・効果、今後の課題について

(4) 施設概要

- ・名称 小規模場外発売場オラレ刈羽
- ・所在地 新潟県刈羽郡刈羽村大字刈羽 3889 (PLANT-5 内)
- ・開設日 平成 28 年 8 月 23 日
- ・運営会社 富士レックス株式会社
- ・収容人員 計 175 人 席数 30 席
- ・駐車場 272 台 駐輪場 20 台
- ・発売払戻窓口数 計 5 窓
- ・1 日最大 7 場発売

(5) 視察内容

オラレ刈羽施設内にて、今回のテーマである「オラレ刈羽の状況について」の説明を受け、施設概要、営業状況、売上推移、来場者数と傾向等について、現地調査を行いました。

特に、商業施設内に設置されているメリットや平成 30 年度より 1 場発売を増設した効果等の検証。

公営競技が求められる、地元の理解及び地域貢献の確認。施設内の衛生管理や維持管理など施設運営会社が担う業務状況の確認。



・施設内座席の様子



・施設内ファン用映像装置



・施設入口前

(6) 主な質疑応答

議 員 昨年度と比較して売り上げ状況について教えてほしい。
 説明者 昨年度の4月から9月の1日平均金額合計で申しあげると、29年度は1069万2700円に対し30年度は1113万1900円で43万9200円の増です。

議 員 来場ファンはどういった方が教えてほしい。
 説明者 開設当初は、物珍しさから、遠方からの来場もありましたが、来場3年目を迎え徐々に固定ファンが増えてきています。また、夕方から、地元の工場からの終業後に来られる方も増えてきています。

- 議 員 ポートレースの認知度について教えてください。
- 説明者 公営競技としては、競馬、競輪の次に認知されているようです。しかし、本場が中越地方に無いため、いかにPRをするかが、課題と捉えております。
- 議 員 商業施設との駐車場での混乱等あるか教えてほしい。
- 説明者 施設全体の駐車場が広いので混乱等はありませんが、商業施設との区別をつける為、駐車場内に警備員による誘導は行なっています。
- 議 員 今後の売上増への施策を教えてください。
- 説明者 今後も新規ファン獲得の為、地元のイベントやお祭りに積極的に参加し、ポートレースの魅力とオラレ刈羽の認知度を上げて、売上に繋げていきたい。

(7) 所感

本市の重要な財源である公営競技事業が場外発売場を設けることで、売上を上げる大切な施設である事を再認識することができた。また、地元との関わりについても報告を受け、地元貢献にも寄与出来ていることに安堵した。

視察中も来場された、お客様からお声を掛けていただき、「これからも楽しく観戦したい」と言っただき、嬉しく思いました。

東北、北陸地方において、本場が無い為、新たなモーターボートファンを増やすきっかけの一翼を担うことを期待したい。

また、オラレ刈羽とオラレ上越を施行する本市の強みを活かし、上中越地方から本場のポートレース平和島旅行企画を実施していますので、府中市と上中越地域の交流が図られるよう、今後期待するところである。

B 新潟県長岡市

(1) 視察日時

平成 30 年 10 月 11 日（木）～11 月 12 日（金）

(2) 場所

長岡市 シティーホールプラザ アオーレ長岡

(3) テーマ

第 80 回全国都市問題会議

(4) 内容

初日（11 月 11 日）

第 80 回全国都市問題会議が新潟県長岡市、長岡市シティーホールプラザアオーレ長岡で開催され、「市民協働による公共の拠点づくり」をメインテーマとした基調講演や各種報告などが行われた。

基調講演は、東京大学史料編纂所教授本郷和人氏による「地方分権へのまなざし」をテーマに、歴史を通じて日本が古くから都を核とした、中央集権の国だったのかを紐解く為、歴史上の例を採り上げ、貨幣の流通、古代の地方行政の形骸化、地域の特色、武士と地方を視点にした講演であった。

次に新潟県長岡市長、磯田達伸氏より主報告があった。主報告では、長岡市は、県のほぼ中央部に位置し、人口は県内 2 番目であり、平成の大合併により、11 市町村が合併した。上越新幹線と関越・北陸自動車道が整備され、首都圏や北陸・東北方面と本市を結んでおり、主要都市へのアクセスを容易とする高速交通体系が充実している。長岡市の市民協働の推進は市民協働条例の制定や市民協働の場として「アオーレ長岡」を JR 長岡駅前にオープンし、市民活動を支える複合施設を整備した。市民と行政または市民同士が、お互いの長所を持ち寄り、補い合うことで課題解決し、まちづくりを進めていくのが、「長岡の協働」であり、その為の市民活動をさまざま支援策を展開していると報告を受けた。

昼の休憩をはさんだ後、一般報告として三重県津市長、前葉泰幸氏より「市民との対話と連携で進める津市の公共マネジメント」、建築家で東京大学教授の隈研吾氏より「場所の時代」と題したテーマによる報告を受けた。

最終日（10 月 12 日）

最終日はパネルディスカッションが開催され、コーディネーター役は明治大学政治経済学部地域行政科長・教授の牛山久仁彦氏が務め、パネリストとして、東京理科大学理工学部建築学科教授の伊藤香織氏、NPO 法人子育てひろば全国連絡協議会理事長の奥山千鶴子氏、長岡市国際交流センター「地球広場」センター長の羽賀友信氏、埼玉県和光市長の松本武洋氏、高知県須崎市長の楠瀬耕作氏の 5 名が参加し

た。はじめに各パネリストからは、NPO活動や自治体行政、団体などそれぞれの視点による活動状況や取組み実績などの報告がなされた。

伊藤氏は建築から見えるまちづくりの視点から、奥山氏は子育ての環境づくりの視点から、羽賀氏は多様性を活かした地域づくり・人づくりの市民協働の視点から、松本、楠瀬両氏からは、首長の立場から行政が推進する市民協働まちづくりの視点でメインテーマの「市民協働による公共の拠点づくり」について討論を公聴した。

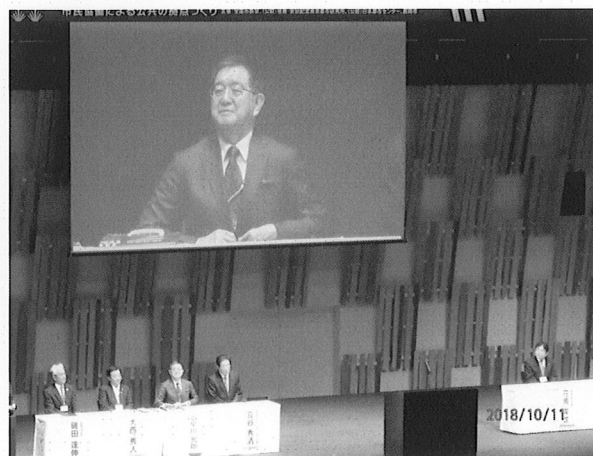
(5) まとめ

全国都市問題会議は2日間にわたり開催されたが、専門分野の異なった講師陣による講演は、普段聞くことのできない貴重な内容も多く、多くの成功事例などを触れることが出来た事は収穫である。府中市においても市民協働を推進していく上で、再認識する報告が多くあり、今回の都市問題会議を通じ、賑わいのあるまちづくりを推進していく上での新たな視点として大変参考になった。特に2日目のパネルディスカッションにおいては、民間人の貴重な実体験からのまちづくり報告もあり、民間活力の導入による柔軟な発想や斬新なアイデアなどが示され大変参考になった。これら実体験をもとにした諸報告を活かし、府中市行政に対しても提案できるものや、活用を検討すべきものもあったと認識した。

この2日間の都市問題会議に参加し、得ることが出来た成果については、府中市行政へ活用していくことが我々府中市議会市政会の使命であると捉え、引き続き活発な議会運営に取り組んで行く事が求められる。



アオーレ長岡入口にて集合写真



全国都市問題会議の様子



全国都市問題会議の全容



全国都市問題会議の様子